

2011年度(平成23年度)学校評価自己評価表

最終更新日	2011年(平成23年)4月 26日
-------	--------------------

校番 36	福山市立神辺西中学校
-------	------------

1 学校教育目標

豊かな心と表現力を養い、仲間と共に未来を創造するたくましい生徒の育成

2 経営理念

(1) 地域社会における自校の使命(ミッション)

『福山市学校教育ビジョン』及び校訓『民主・創造・開拓』を基に、地域に信頼され、生徒・保護者より高い満足度で評価される活力ある学校づくりを推進していく。

(2) 使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像(ビジョン)

めざす生徒像・・・自己実現に取り組む生徒  
めざす学校像・・・活力ある学校  
めざす教職員像・・・尊敬される教師  
めざす授業像・・・学力のつく授業

3 自校の現状分析

(1) 校長の経営ビジョンを達成させるための体制はできつつあるが、「報告・連絡・相談」を、さらに確実にできるようにすることが体制づくりの上で課題である。今後も、各主任を中心とした組織的・機能的な学校づくりが望まれる。

(2) 昨年度の県基礎基本定着状況調査では、県平均と比較すると、国語+1.5ポイント、数学+2.8ポイント、英語-0.3ポイントであった。英語については課題が残るが、総体的には定着傾向にあり、今後も、集団づくりに視点を置いた「話し合い活動」「協働学習」等を取り入れ、また学習規律の徹底や家庭学習を定着させながら、生徒の学習意欲や表現力をさらに育成していくことが必要である。

(3) 生徒指導面では、組織的・機能的な取り組みができ、現在では、規律ある落ち着いた学校状況にある。しかし、常に荒れに対する緊張感を持ち続け、現状の生徒をさらに高めていくという積極的な生徒指導を継続させ、さらに、研究主題を意識した具体的取り組み内容を、引き続き取り組んでいく必要がある。

4 研究主題

(1) 研究主題

『集団づくりを通して、生活・学習意欲を高める。』  
- 思考力・判断力・表現力を養う -

(2) 研究指定

指 定	事 業 名 等	期 間
県 市 市	福山市教育支援事業(全教科)	平成年度 平成20~23年度 平成年度

5 今年度の重点目標と設定理由

重 点 目 標	設 定 理 由
西中授業スタイルの確立  積極的な生徒指導体制のさらなる確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学習規律の徹底」「本時の目標の設定」「到達度の把握及びその手立て」「話し合い活動・協働学習の設定」を、各授業の中で位置づけることにより、研究主題を意識した授業改善が効果的に取り組まれ、そのことが、生徒の学力向上に繋がると考えられる。</li> <li>対処療法的な生徒指導だけでなく、常に生徒を高めるという視点を持つ事が大切であり、「授業=生徒指導」をキーワードにしながら、授業改善や学級活動、生徒会活動、部活動、環境整備等に取り組めば、心豊かな生徒が育つと考えられる。</li> </ul>

6 評価基準

評価・指標評価	基 準	
A・a	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた
B・b	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた
C・c	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた
D・d	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった
E・e	40%未満の達成度	目標を達成できなかった

・ 自己評価(中間)の基準は、10月20日までの計画に対する達成状況とする。

## 7 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	( ) 評価	評価項目・指標等 ( 成果 取り組み 成果と取り組み に着目 )	( ) 指標 評価	評価項目・指標等 改善方策	短期(中期)経営目標 の達成状況
確 か な 学 力	3	基礎・基本の定着	重点 見直し		学習規律の確立と徹底		学習規律マニュアルの徹底を図る。(目標95%以上) (あいさつ、チャイム着席)			
					家庭での学習習慣の定着		自主学习ノートを充実させ、家庭学習の定着を図る。(1日1時間以上の生徒割合75%以上)			
	2	思考力・表現力を高める	継続		自分の考えを表現する力の育成		年6回の研究授業、また学期1回の授業交流旬間で、授業展開において、個から集団思考させる場と、意見発表の場を設ける。			
							発言マニュアルの徹底を図る。			
豊 か な 心	1	豊かな生活をするための環境づくり	重点 見直し		環境美化活動の充実		清掃マニュアルを作成し、毎週金曜日に班長会を行い、清掃活動の徹底を図る。			
							部活や学級を単位とした、校内一斉美化活動を月に1回行う。			
	2	積極的な生徒指導を行う	重点 見直し		生徒指導体制の確立		月1回の生徒指導委員会を行い、生徒指導上の課題の早期解決を図る。			
							基本的な生活習慣の確立を図る。			
					集団づくりの充実		年2回(6月、10月)のQUアンケートを実施し、その活用を通して学級満足度の向上を図る。			
							意欲的な学校生活を送るために部活動の充実を図る。			

7 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	( ) 評価 ( 成果 評価項目・指標等 取組み 成果と取組み に着目 )	( ) 指標 評価	評価項目・指標等 改善方策	短期(中期)経営目標 の達成状況
健やかな体	3	たくましく生きるための健康・体力づくり		継続	体力・運動能力の向上			スポーツテストを年間2回実施し、そのうち1種目で向上した生徒を80%以上にする。	
力量ある教職員	2	西中授業スタイルの確立		重点 見直し	授業改善に繋がる校内研修の充実			研究主題を意識した校内授業研究の実施(年6回)及び授業交流・参加型研修の実施(年3回)。	
市民から信頼される学校	2	学校評価を中心にした学校経営		重点 見直し	短いスパンでPDCAを繰り返す、達成率を向上させる			毎月末に、各項目の検証を行い、改善策を練る。	
	2	開かれた学校づくり		新規	学校からの積極的な情報発信			学校だより、学年だより(月2回)、保健だより、ホームページ(月2回)を、積極的に発行・更新する。	